

⑬ 博多港(福岡県福岡市)

平成 27 年度は、セイヨウナタネ 139,554t 及び飼料用トウモロコシ 193,873t の陸揚げがあった。主な輸入元国は、セイヨウナタネはカナダ及び豪州、飼料用トウモロコシは米国、ブラジル及びウクライナであった(財務省貿易統計)。

直近7か年の遺伝子組換えセイヨウナタネの生育地点は、図 25 及び図 26 のとおり、調査対象範囲においては、陸揚げ地点から5km 圏内の道路沿いであった。

近縁種については、図 26 のとおり、例年、カラシナが生育していた。また、在来ナタネが生育していた年もあった。

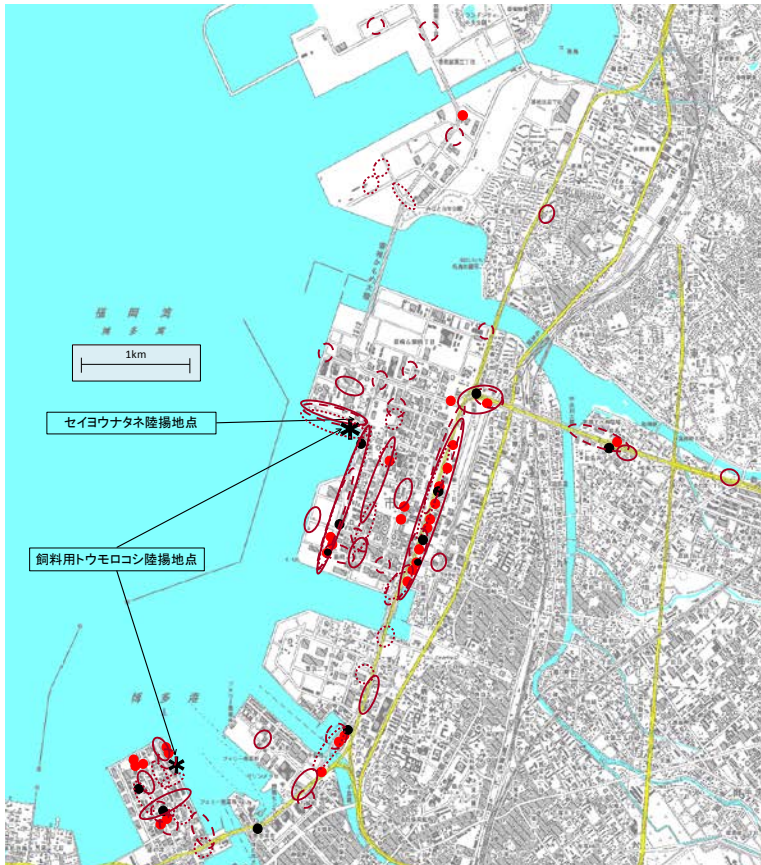


図 25 H21-27 年度セイヨウナタネ生育地点

記号	凡例
●	H27年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
●	H27年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
—	H24~26年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
---	H21~23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
...	H18~20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	セイヨウナタネ・飼料用トウモロコシの陸揚げ地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成 28 年情復、第 845 号)

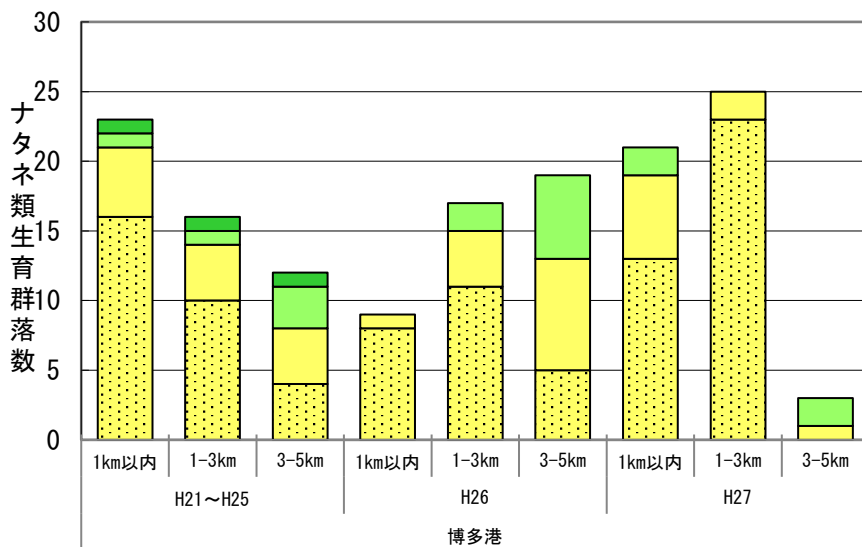


図 26 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から1km 圏内、1km から3km 圏内、3km から5km 圏内を示す。H21-25 は平成 21 年度から 25 年度の平均値。

■	在来ナタネ
■	カラシナ
■	セイヨウナタネ
■	うち遺伝子組換えセイヨウナタネ

⑭ 戸畑港(福岡県北九州市)

平成 27 年度は、セイヨウナタネ及び飼料用トウモロコシの陸揚げはなかった。

直近7か年の遺伝子組換えセイヨウナタネは、図 27 及び図 28 のとおり、平成 26 年度に1箇所、陸揚げ地点から約5km 離れた道路沿いで生育していた。

近縁種については、図 28 のとおり、例年、カラシナが多数生育していた。また、在来ナタネが生育していた。

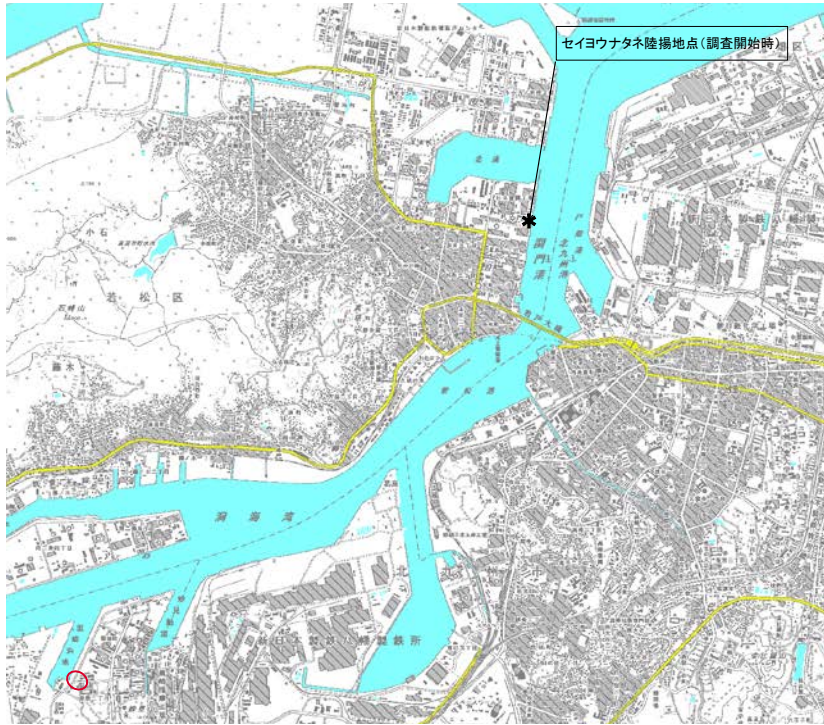


図 27 H21-27 年度セイヨウナタネ生育地点

記号	凡例
●	H27年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
●	H27年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
—	H24~26年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
---	H21~23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
...	H18~20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	セイヨウナタネの陸揚げ地点(H18年度のみ)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成 28 年情復、第 845 号)

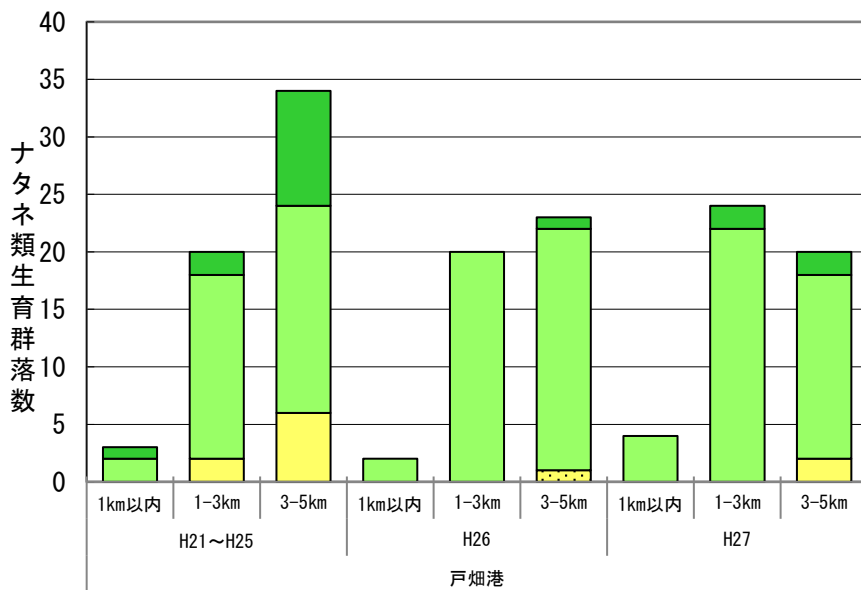


図 28 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から1km 圏内、1km から3km 圏内、3km から5km 圏内を示す。H21-25 は平成 21 年度から 25 年度の平均値。

■	在来ナタネ
■	カラシナ
■	セイヨウナタネ
■	うち遺伝子組換えセイヨウナタネ

⑮ 志布志港(鹿児島県志布志市)

平成 27 年度は、飼料用トウモロコシ 1,463,073t の陸揚げがあった。主な輸入元国は、米国、ブラジル及びウクライナであった(財務省貿易統計)。

直近7か年の遺伝子組換えセイヨウナタネの生育地点は、図 29 及び図 30 のとおり、調査対象範囲においては、陸揚げ地点から3km 圏内の道路沿いであった。

近縁種については、図 30 のとおり、例年、在来ナタネが多数生育していた。



図 29 H21-27 年度セイヨウナタネ生育地点

記号	凡例
●	H27年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
●	H27年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
—	H24~26年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
—	H21~23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
調査未実施	H18~20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	飼料用トウモロコシの陸揚地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成 28 年情復、第 845 号)

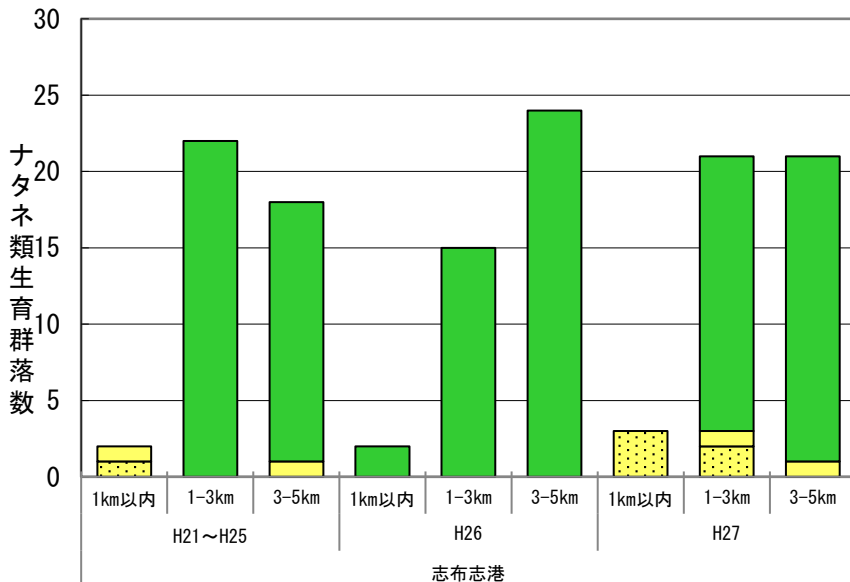


図 30 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から1km 圏内、1km から3km 圏内、3km から5km 圏内を示す。H21-25 は平成 21 年度から 25 年度の平均値。

